

2.3 緩速ろ過の無人運転 (ver. 1)

Q I-2.3-① 緩速ろ過池の無人運転とはどのようなものか。

Q I-2.3-② 無人運転が可能な条件とは何か。

Q I-2.3-① 緩速ろ過池の無人運転とはどのようなものか。

A I-2.3-① 緩速ろ過では、一定のろ過速度で運転を継続する場合にはほとんど操作が必要なく、効率的な運転が可能となる。以下の設備の整備により、遠隔制御も可能となる。ただし、ろ過開始に至る操作、ろ過停止、ろ過池の清掃、ろ過池の充水の各操作、及び補砂作業の遠隔制御化は費用対効果からみても難しいので、現地での作業となる。

内容	目的
ろ過流量を制御する弁の電動化・遠征化	ろ過流量（ろ過速度）の制御
流量計のデータの電送	ろ過流量（ろ過速度）の制御
ろ過水濁度のデータの電送	ろ過開始の判断、ろ過停止の判断
浄水残留塩素のデータの電送	塩素注入の調整

Q I-2.3-② 無人運転が可能な条件とは何か。

A I-2.3-② ろ過継続期間が長くなる場合、遠隔制御化の効果が大きくなる。このためには、原水水質が良好で安定的なろ過が継続できること、越流管からの排出等によるろ過膜藻類の制御が容易なことがあげられる。